2020/02/20 更新

―企業・団体向け クライアント運用管理ソフトウェア―

SKYSEA Client View

スカイシー クライアント ビュー

Ver.15

技術資料

通信ポート

資料をご利用の際にはWebサイトをご確認いただき、最新の技術資料をお使いください

資料の目的

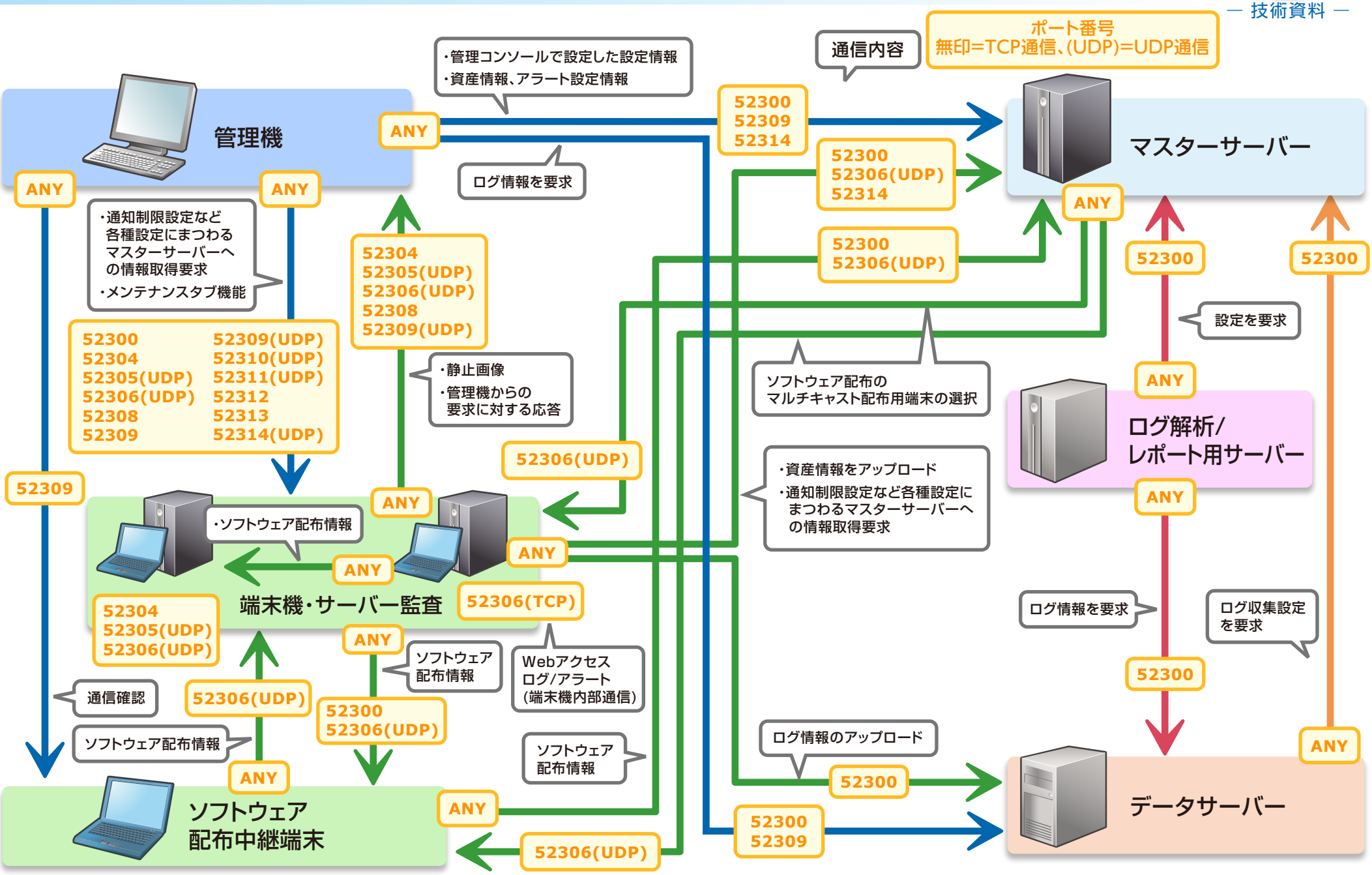
・SKYSEA Client Viewで使用するポートをご確認いただくための資料です。
・資料更新日時点のSKYSEA Client View最新バージョンでの対応状況となります。
・記載内容は初期値を表しております。
マスターサーバーのインストール時に使用ポートを変更された場合は、この限りではございません。
その場合は最終ページの注意点をご参照ください。

●SKYSEA および SKYSEA Client View は、Ｓｋｙ株式会社の登録商標です。●その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。●本文中に記載されている事項の一部または全部を複写、改変、転載することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。●本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。

通信の流れ -1-

SKYSEA Client View Ver.15

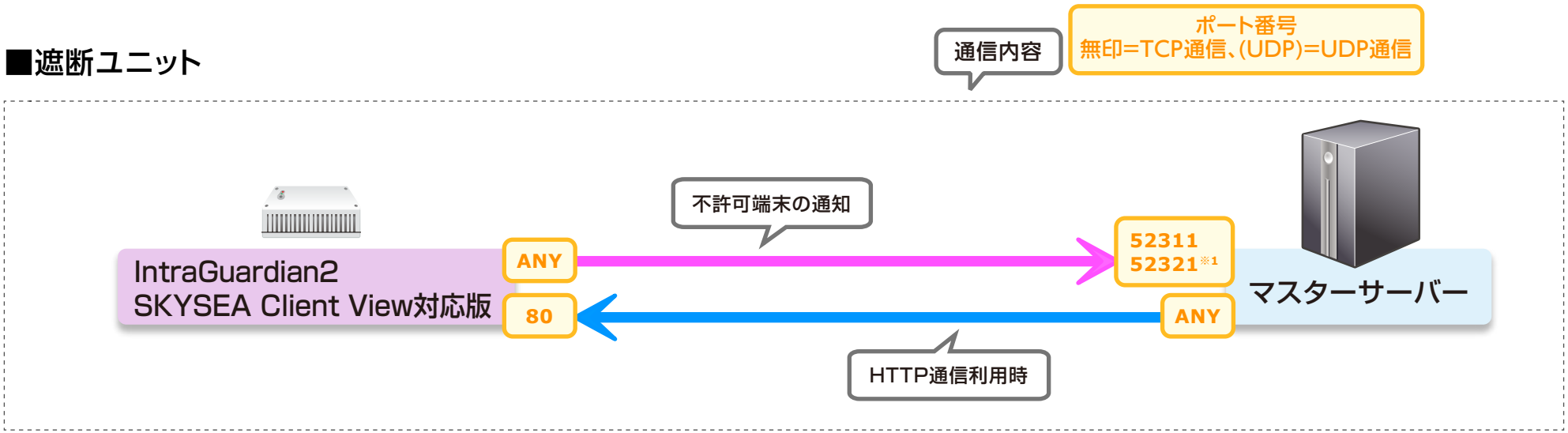
— 技術資料 —



通信の流れ -2-

SKYSEA Client View Ver.15
— 技術資料 —

■遮断ユニット



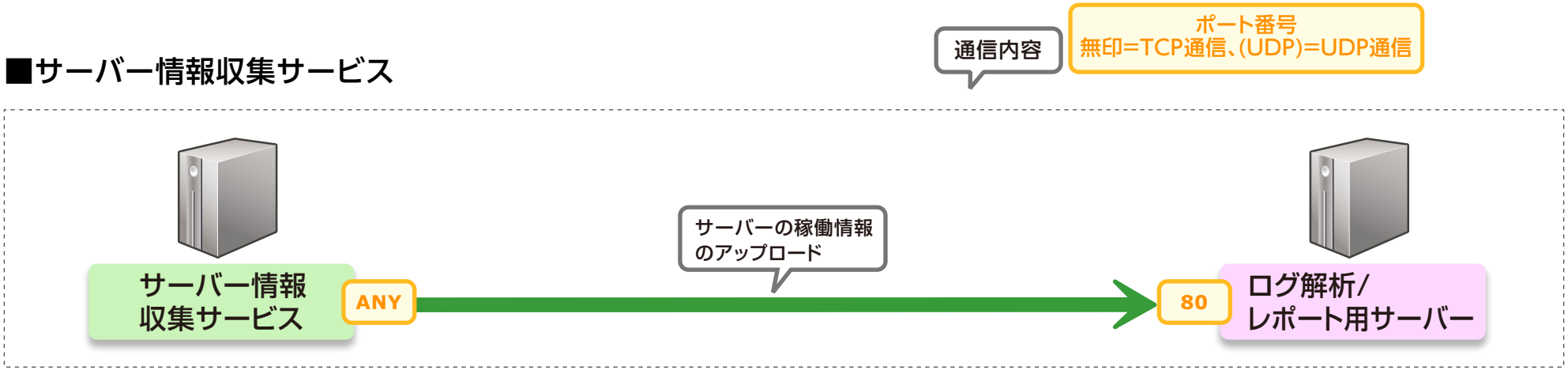
※1　Ver.14.1以降は52321を利用します。

■遮断ユニット(端末機インストール連携)

※2　Ver.14.1以降は52327を利用します。

通信の流れ -3-

■サーバー情報収集サービス



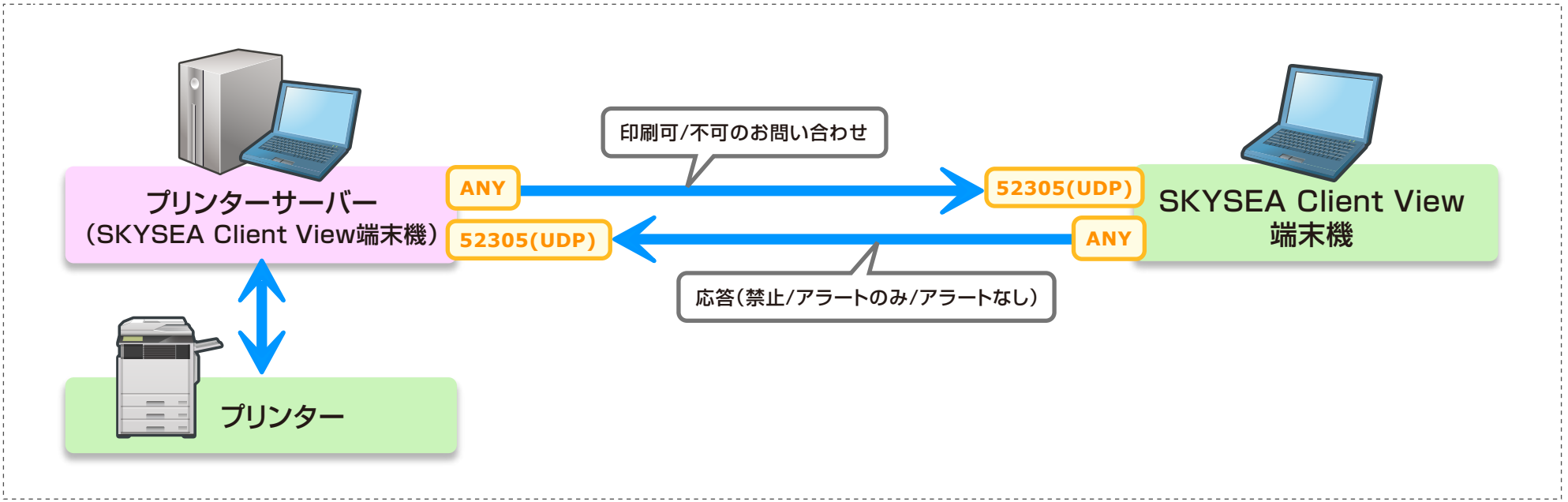
■Intel® vPro™による端末機制御

通信の流れ -4-

通信内容
ポート番号
無印=TCP通信、(UDP)=UDP通信

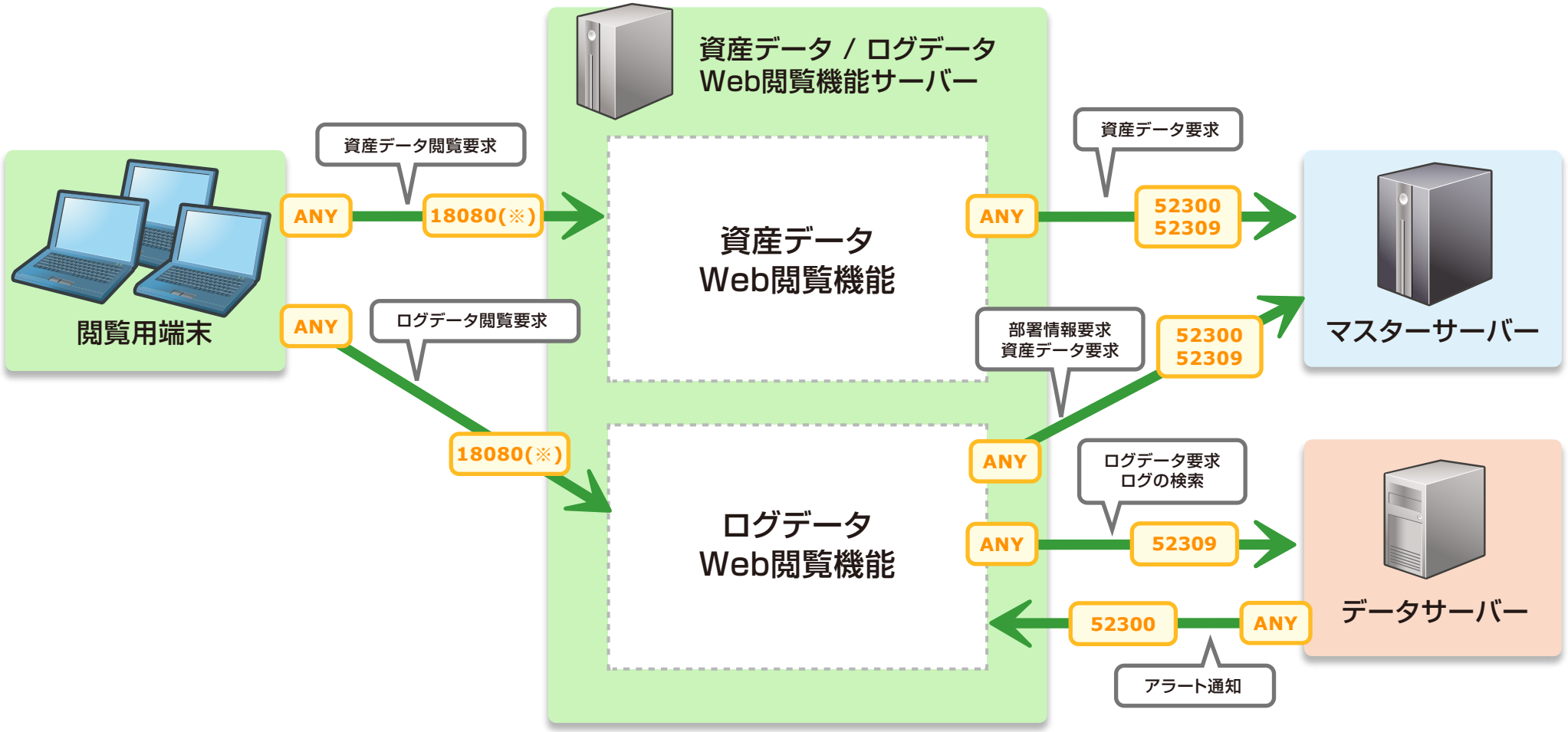
■マスターサーバー

■プリンターサーバー経由での印刷をアラート検知



通信の流れ -5-

■資産データ / ログデータWeb閲覧機能

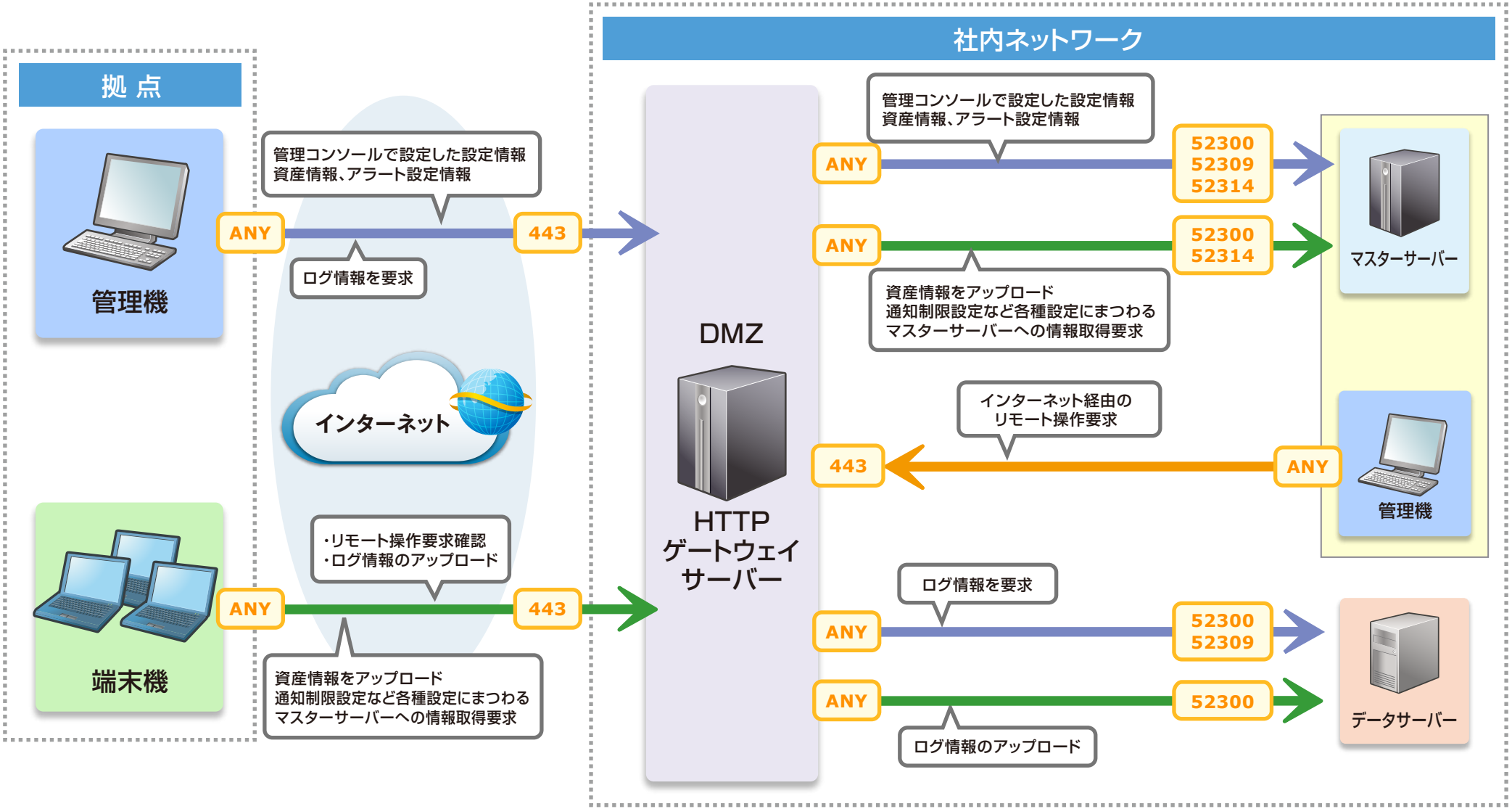


※ インストール時に設定したポート番号を使用します。

通信の流れ -6-

SKYSEA Client View Ver.15 — 技術資料 —

■インターネット経由での資産情報 / ログ収集機能

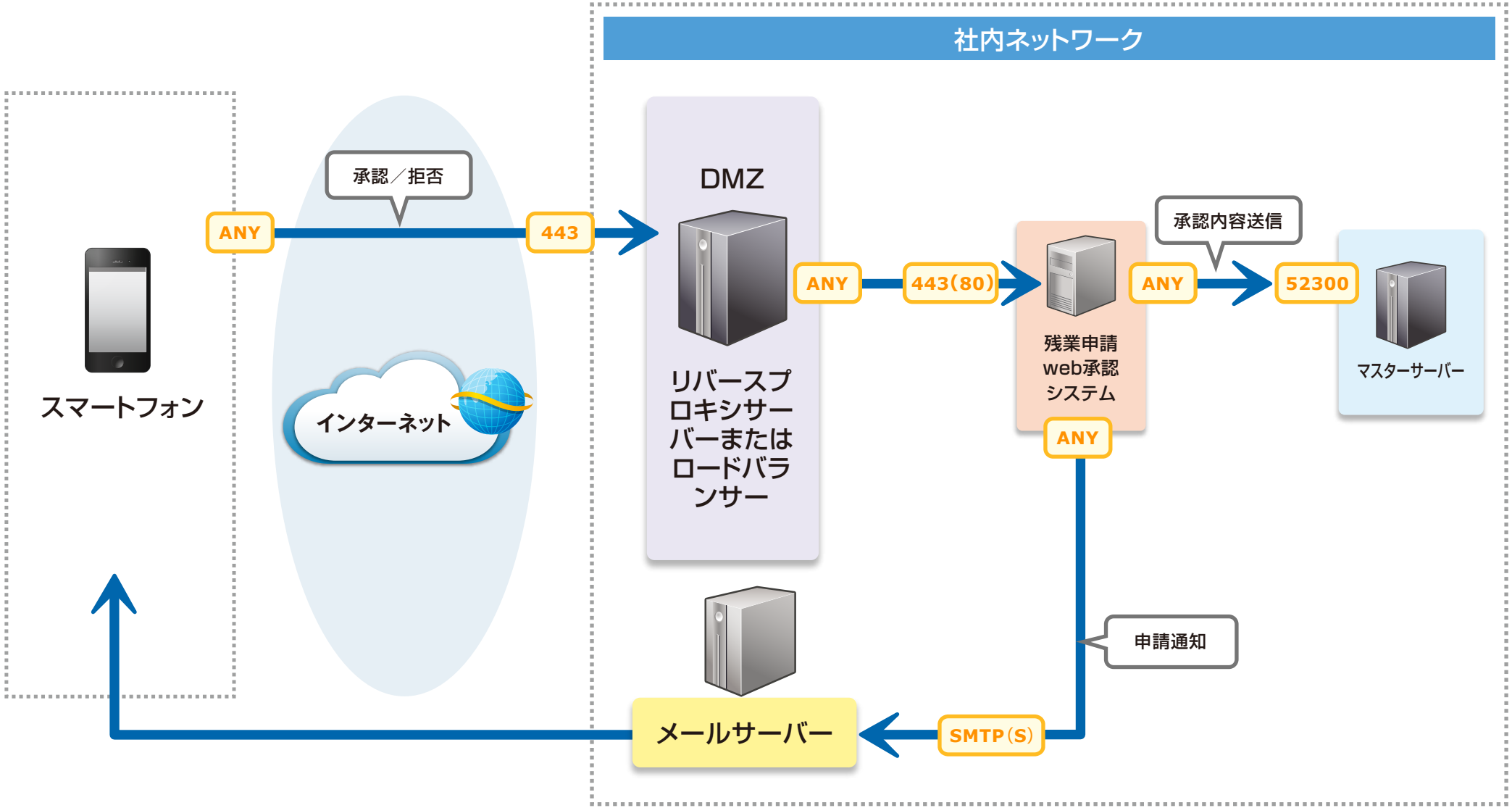


HTTPゲートウェイサーバーに関係する通信以外は、他のページをご覧ください。

通信の流れ -7-

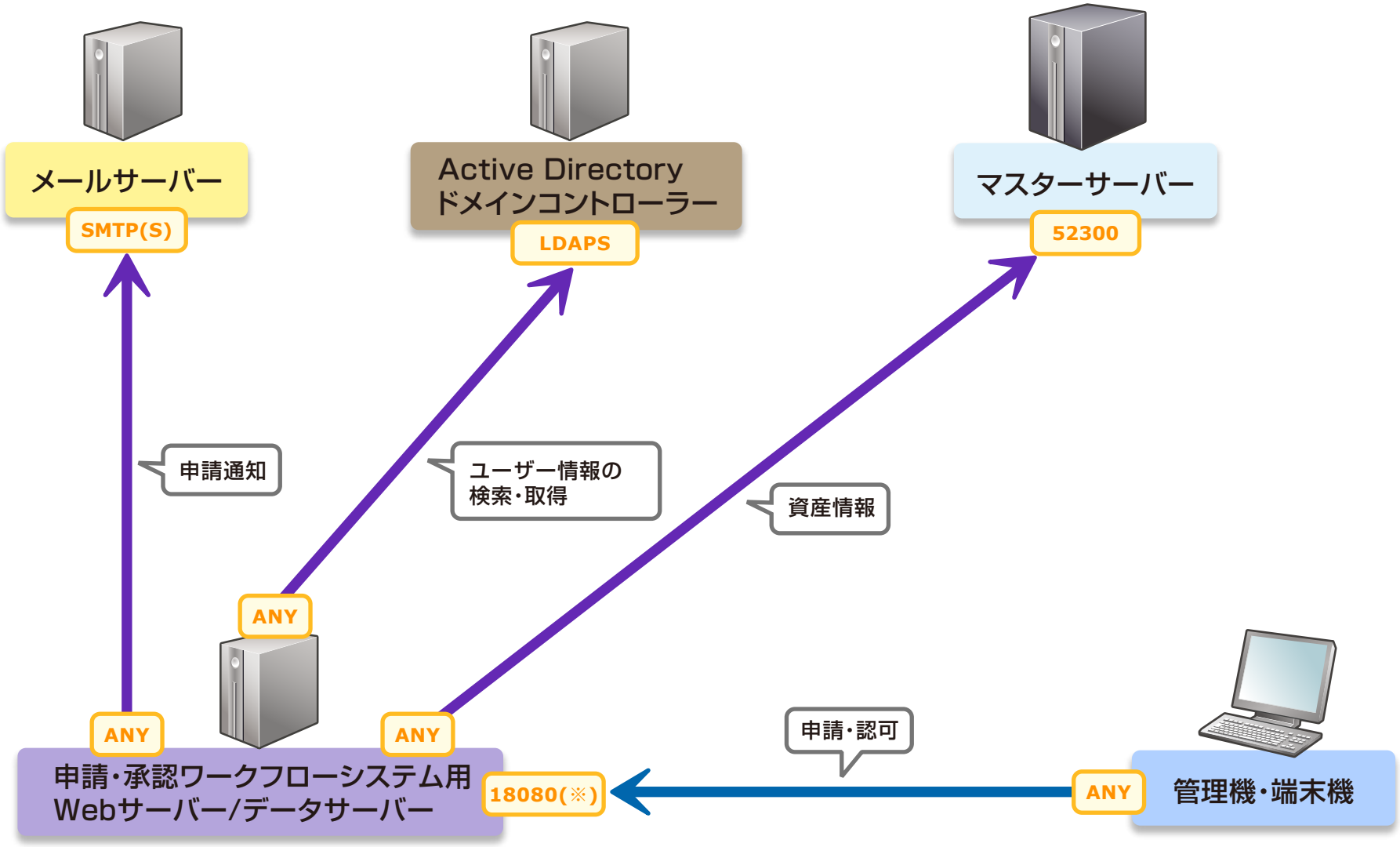
通信内容
ポート番号
無印=TCP通信、(UDP)=UDP通信

■残業申請Web承認システム



通信の流れ -8-

■申請・承認ワークフローシステム



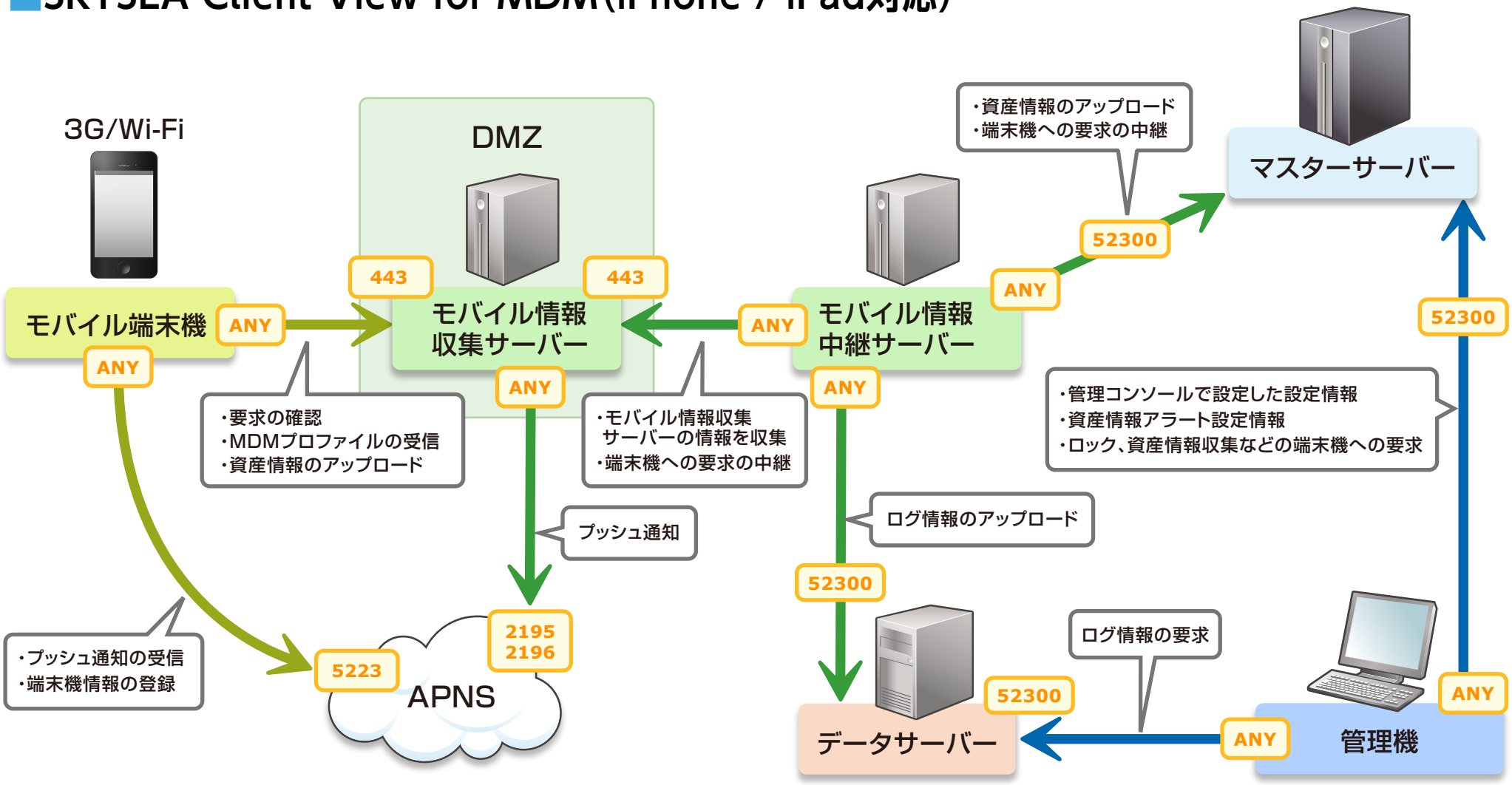
※ インストール時に設定したポート番号を使用します。

通信の流れ -9-

SKYSEA Client View Ver.15 — 技術資料 —

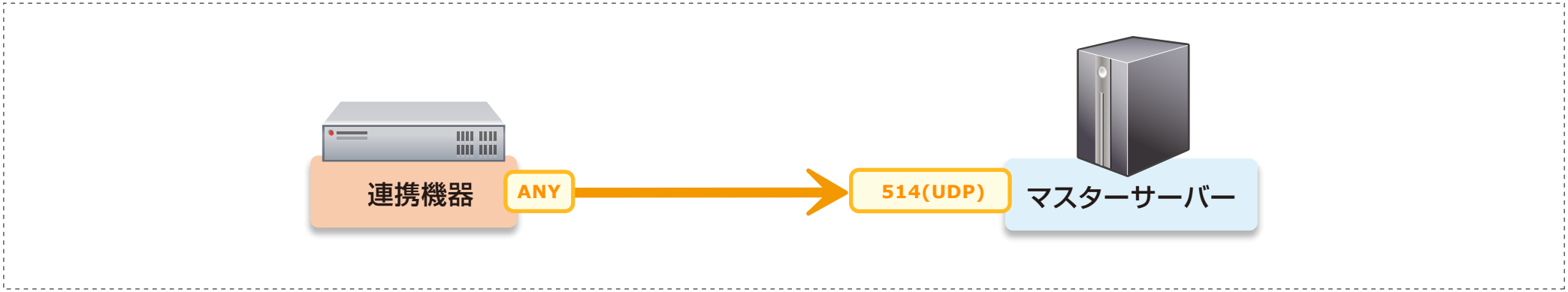
通信内容
ポート番号
無印=TCP通信、(UDP)=UDP通信

■SKYSEA Client View for MDM(iPhone / iPad対応)

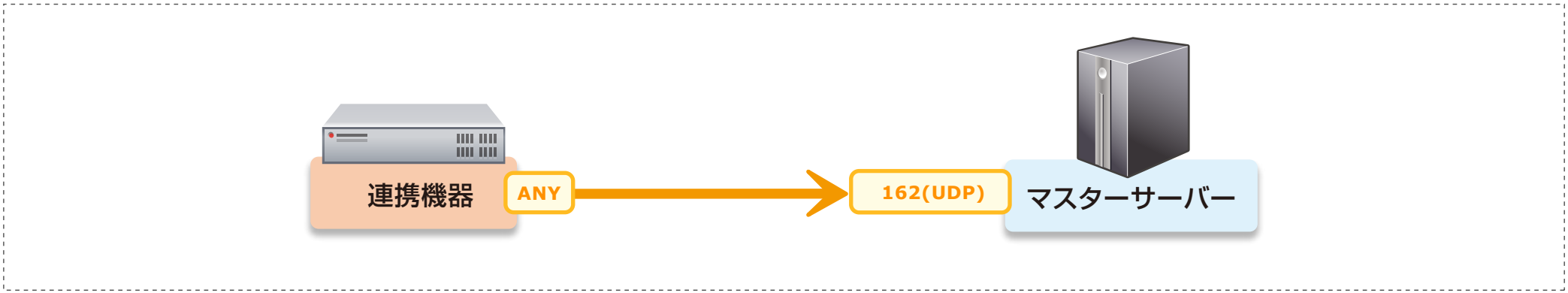


通信の流れ -10-

■標的型攻撃対策ログ収集オプション連携（syslogによる異常端末監視）



■標的型攻撃対策ログ収集オプション連携（SNMPトラップによる異常端末監視）



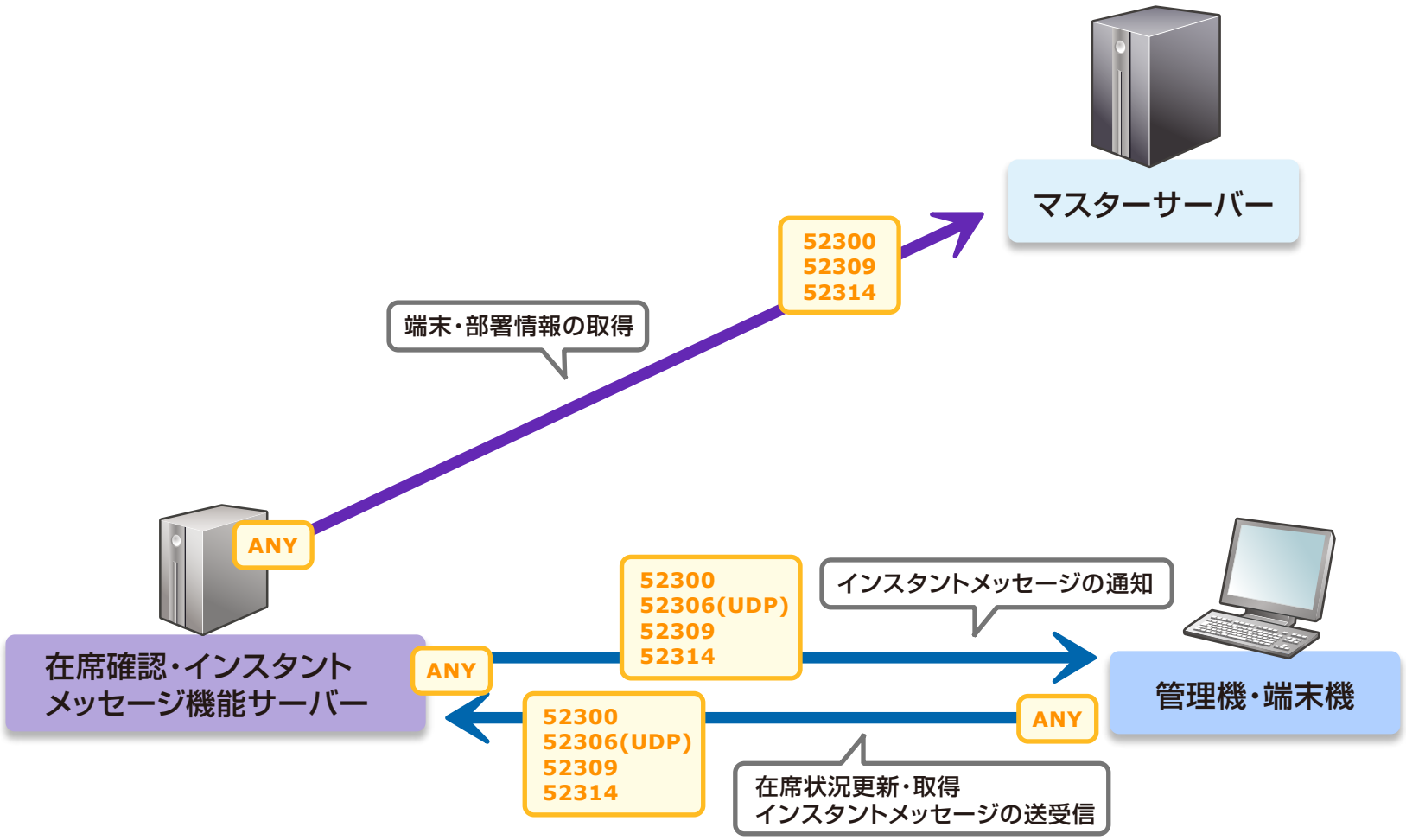
通信の流れ -11-

■起動・終了ログの時刻補正

■電源管理（ウエイクアップオンラン）

通信の流れ -12-

■在席確認・インスタントメッセージ機能サーバー



※ インストール時に設定したポート番号を使用します。

通信の流れ -13-

■University

※1　52300(TCP)、52500、50501(UDP)、52502(UDP)、52503(UDP)
※2　52500、50501(UDP)、52502(UDP)、52503(UDP)

使用ポート一覧

SKYSEA Client View Ver.15
— 技術資料 —

項目	通信ポート	
1	TCP 52300	SKYSEA Client View の各機能で使用
2	TCP 52304	
3	UDP 52305	
4	TCP 52306	
5	UDP 52306	
6	UDP 52307	
7	TCP 52308	
8	TCP 52309	
9	UDP 52309	
10	UDP 52310	
11	UDP 52311	
12	TCP 52312	
13	TCP 52313	
14	TCP 52314	
15	UDP 52314	
16	TCP 52316	医療機関向けオプションの各機能で使用
17	TCP 5900	Intel® vPro™を利用した端末機制御で使用
18	TCP 16992	
19	TCP 16993	
20	TCP 16994	
21	TCP 16995	
22	HTTP(TCP 80)	IntraGuardian2 SKYSEA Client View対応版の設定で使用
23	TCP 52311	IntraGuardian2 SKYSEA Client View対応版(HTTP通信版)からマスターサーバーへの通知で使用
24	TCP 52317	IntraGuardian2 SKYSEA Client View対応版(HTTP通信版)からマスターサーバーへの通知で使用(エージェントダウンロード用)
25	TCP 52321	IntraGuardian2 SKYSEA Client View対応版(IGIP通信版)からマスターサーバーへの通知で使用
26	TCP 52327	IntraGuardian2 SKYSEA Client View対応版(IGIP通信版)からマスターサーバーへの通知で使用(エージェントダウンロード用)
27	HTTP	ログ解析/レポート用サーバー、IntraGuardian2 端末機インストール連携で使用
28	HTTPS(HTTP)	SKYSEA Client View for MDM、インターネットを経由した資産情報/ログ収集機能、ワークフローシステム、資産データ/ログデータWeb閲覧機能、残業申請Web承認システムで使用
29	TCP 2195	SKYSEA Client View for MDM(iPhone / iPad 運用管理で使用)
30	TCP 2196	
31	TCP 5223	
32	TCP 52500	
33	UDP 52500	

項目	通信ポート	
34	UDP 52501	University(講義室向けオプション)の各機能で使用
35	UDP 52502	
36	UDP 52503	
37	SMTP	メール通知(注意表示)・ワークフローシステムなどで使用
38	SMTPS	メール通知(注意表示)・ワークフローシステムなどで使用
39	POP3/SMTP	印刷物取り忘れ警告(注意表示)で使用
40	Oracle Database Listener	Oracle Databaseのデータベース監査ログ収集機能で使用
41	syslog	syslogによる異常端末監視で使用
42	SNMP	SNMP機器のMIB情報取得およびSNMPトラップによる異常端末監視で使用
43	ICMP	ネットワーク機器の死活監視で使用
44	LDAP	ユーザー情報の検索・取得
45	LDAPS	ユーザー情報の検索・取得
46	TFTP	ディスクイメージ配信オプションの各機能で使用
47	NTP(UDP 123)	起動・終了ログの時刻補正で使用

【注意点】

使用するポート番号は初期設定値になります。
初期値から変更が可能なポート番号は項目1～16、32～36です。
項目1～16、32～36は、マスターサーバーインストール時にポート番号を指定することで、指定したポート番号を起点とし、上記表のTCP 52300から順に飛び数のポート番号を利用します。
なお、上記表のSMTP、SMTPS、POP3/SMTP、Oracle Database Listenerは現地環境により、利用するポート番号は異なります。
項目1～16、32～36は、インターネットと双方向とも通信できないように、ファイアウォール機器等設定ください。
また一覧内のHTTPについては、インターネットから通信できないよう設定ください。

本資料に関するご不明な点やご質問がございましたら、弊社までご連絡ください。
既に製品をご利用中のお客様におかれましては、ご契約中の保守サポート窓口までご連絡ください。